

和歌山だより

令和5年 第178号
(2023)



こいのぼりの丹生川渡し（九度山町）

子供たちの健やかな成長と町の活性化を願って行われている「こいのぼりの丹生川渡し」。丹生川の約100mの川幅いっぱいには100匹の色とりどりのこいのぼりが風を受けて泳ぎます。季節があえば桜とともに心地よさそうに泳ぐこいの姿を楽しむこともできます。（写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟）

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 9
- 3 お知らせ p. 10 ~ 16
- 4 ふるさと歳時記 p. 17



学校教育の未来

誰にとっても学校生活の思い出はかけがえのないものです。一方で、いろいろな理由で学校に行けなかったつらい思い出をお持ちの方もいるでしょう。県民みんなで学び、幸せで活力ある和歌山県にするにはどうすればよいのか、これから挑戦していきます。

知事に就任して、4つの学校の卒業式に出席しました。県立和歌山工業高校では土木や機械、電気といった専門の学科を学び、就職や進学の道に進む皆さんを送り出しました。就職の場合、生徒一人に15社が求人の引っ張りだこと聞きました。専門の学科を学ぶ意義を感じました。

県立の盲学校とろう学校の卒業式にも出席。盲学校の3人の卒業生の中には、中途障害で年齢の高い方もおられましたが、それぞれに新しい道に挑戦される姿に感銘を受けました。ろう学校の卒業生も3人でした。皆さん、明るい笑顔でこれまでの学生生活の報告と前途への希望を語られ、こちらまで勇気をいただきました。両校ともに、教職員の皆さんの愛情をたっぷり受けて育てられた雰囲気を感じることができました。関係者の皆さんには感謝しかありません。

私立のりら創造芸術高等学校の卒業式も、山上範子校長先生の紹介の後、13人の卒業生の皆さん一人一人のスピーチがあり、不登校から立ち直り、仲間とともに成長していく物語など感動的でした。皆さんが保護者への感謝の思いを語る姿に学校の教育方針の素晴らしさを感じました。チャレンジド(障がい者)としての専門教育や、工業、芸術など専門の学科を学ぶ生徒さんたちの後ろ姿から、たくさんのことを学ばせてもらいました。

和歌山県知事 岸本 周平



4/4 記者会見にて

● 「和歌山未来創造プラットフォーム」をスタートします！

県では、全国で活躍されている起業家や経営者、文化人、アスリート等の有識者など県内の様々な主体が参加する「和歌山未来創造プラットフォーム」を設置し、本県の活性化につながる助言や提言を行っていただきます。

本プラットフォームは、県政の重要事項等について助言を頂く「アドバイザリーボード」と、テーマ毎に設定したチームが具体的な取組を検討する「ワーキングチーム」で構成されています。

今後、和歌山未来創造プラットフォームの取組を通して、「和歌山全体のブランディング」を構築していくとともに、県庁においても部局横断的にこの取組をしっかりと支え、県民の皆さんの幸せに資する県政を推進していきます。

I アドバイザリーボード

(目的・役割)

・本県を取り巻く様々な課題や重要事項等について、個別かつ不定期に助言を頂きます。

(メンバー)

(敬称略・五十音順)

牛窪 恵	世代・トレンド評論家、マーケティングライター、立教大学大学院客員教授、インフィニティ代表取締役
大崎 洋	吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役会長
神崎 亮平	東京大学先端科学技術研究センターシニアリサーチフェロー 高野山大学客員教授
コシノ ジュンコ	デザイナー
澤 和樹	ヴァイオリニスト、東京藝術大学名誉教授（前学長）
竹内 純子	国際環境経済研究所理事・主席研究員、東北大学特任教授 U3イノベーションズ合同会社共同代表
竹中 ナミ	社会福祉法人プロップ・ステーション理事長
新浪 剛史	サントリーホールディングス株式会社代表取締役社長
三木谷 浩史	楽天グループ株式会社代表取締役会長兼社長
山下 泰裕	公益財団法人日本オリンピック委員会会長

II ワーキングチーム

(目的・役割)

- ・県を取り巻く課題に対して取り組むテーマを設定し、チームを組織します。
- ・各チームのリーダーには、全国で活躍される企業の経営者や文化人等の方々を配置し、県職員や必要に応じて県内外の関係者と共に具体的な取組を検討します。
- ・テーマ毎の具体的な取組内容等については、今後、リーダーを中心に検討を進めます。

(各テーマとチームリーダー)

(敬称略)

テーマ	テーマの概要	チームリーダー
観光	観光の魅力向上、ブランディング等	坂之上 洋子 (経営ストラテジスト、一般社団法人42Tokyo理事長)
DX	県内DXの推進等	天野 宏 (株式会社メルカリ経営戦略室政策企画参事)
地方創生	地域の特色を活かした活性化等	鳴海 禎造 (glafit株式会社代表取締役社長)
ワーケーション	ワーケーションの推進によるウェルビーイングの実現	島田 由香 (株式会社YeeY共同創業者代表取締役)
国際化	海外への輸出促進、ブランディング等	山本 典正 (平和酒造株式会社代表取締役社長)
文化・芸術	文化力の発信、文化振興等	吉本 英樹 (東京大学先端科学技術研究センター特任准教授/TANGENT創業者)

●タウンミーティング、おにぎりミーティングを実施中です！

県では、県民の皆さんが笑顔になる和歌山を築くために、知事が直接県民のお声を聴き、その思いを活かした県政を共につくることを目的として、地域で様々な活動を行っている方々と意見交換を行う「タウンミーティング」を実施しています。これまでに3市5町（橋本市、田辺市、新宮市、紀美野町、有田川町、上富田町、すさみ町、串本町）で開催しており、皆さんが直面している課題や県庁に改善してほしい点、新たな取組の御提案等、忌憚のない御意見を多く頂いており、大変有意義な取組となっています。

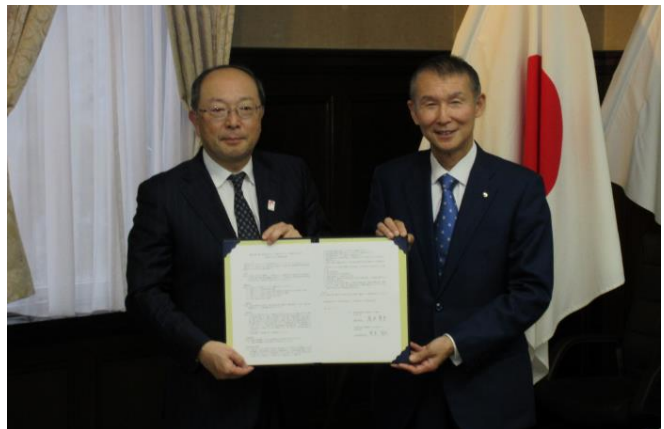
今後も県内各地にお伺いし、現場のお声にしっかりと耳を傾けながら皆さんの取組を応援していきたいと思っております。

また、県庁内部での取組としては、主に若手職員を中心に昼休みにお弁当などを持ち寄って知事とざっくばらんに意見交換を行う「おにぎりミーティング」(OMTG)を実施しており、職員からは日々の業務や働き方に関する課題やその解決方法について多くの意見が出されています。

これらの意見を踏まえ、引き続き業務改善等に向けた取組を行ってまいります。

●「空飛ぶクルマ」の県内での実用化に向けて株式会社長大との連携協定を締結しました

県では、2025年大阪・関西万博期間中の「空飛ぶクルマ」の実証飛行の取組や、将来的な県内での実用化に向け、「空飛ぶクルマ」の普及啓発や離着陸場の整備に必要なノウハウの提供を受けるなどの相互連携を図ることを目的に、株式会社長大と連携協定を締結しました。

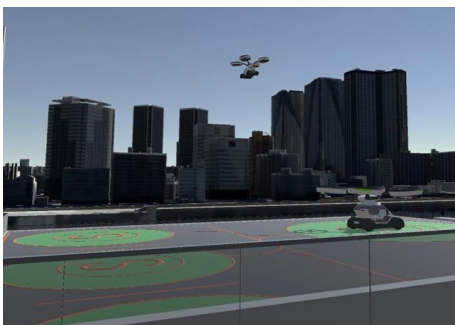


野本代表取締役社長と知事

去る2月1日に開催した協定締結

式では、株式会社長大の野本昌弘代表取締役社長が「和歌山県は、万博会場や関西国際空港にも近く観光面でも期待できる」と述べられました。

県としましても、新しい時代を迎え、大阪・関西万博を契機として、「空飛ぶ



空飛ぶクルマ離着陸場（イメージ）

クルマ」という非常に夢のある、そして多くの人をワクワクさせるプロジェクトに共に取り組めることを大変嬉しく思っております。

今後も「空飛ぶクルマ」の県内での普及啓発を行うとともに、県内離着陸場の整備など、実証飛行を含めた実用化に向けて取り組んでいきます。

■協定の内容

- (1) 「空飛ぶクルマ」の普及啓発に関する事項
- (2) 2025年大阪・関西万博期間中の実証飛行に向けた取組に関する事項
- (3) 将来的な実用化に向けた取組に関する事項
- (4) 「空飛ぶクルマ」を活用した地方創生に関する事項
- (5) その他、連携協定の目的に資する事項

■「株式会社長大」概要

設立 1968年2月21日

代表者 代表取締役社長 野本 昌弘

URL <https://www.chodai.co.jp/>

所在地 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号
(和歌山事務所) 和歌山市吉田386番地

事業内容 総合建設コンサルタントとして、社会インフラ全般の整備や維持管理、また、課題解決に取り組んでいる。これまで培ってきた多くの経験とノウハウ、実績を活かし、「空飛ぶクルマ」の実装に必要なコンサルティングサービスを提供。
経済産業省・国土交通省が共同で主催する「空の移動革命に向けた官民協議会」などにも参画。

●令和4年度（第15回）プレミア和歌山推奨品が決定しました！

県では、平成20（2008）年度から県産品のブランド力強化を図るため、農林水産物、加工食品、産業製品などの「和歌山のめぐみ」の中でも特に優れたものを和歌山県優良県産品『プレミア和歌山』として認定し、推奨してきました。

さらに、推奨品に認定されたものの中から、高い商品力・訴求力があり、プレミア和歌山全体の知名度向上に寄与する商品に「プレミア和歌山推奨品審査委員特別賞」を授与し、特別賞に次ぐ特に優れた商品に「プレミア和歌山推奨品審査委員奨励賞」を授与しています。

3月9日に「令和4年度プレミア和歌山推奨品発表会」を開催し、審査委員会委員長の残間里江子さんざんまりえこから特別賞・奨励賞の発表と表彰を行いました。

幅広い分野の魅力あふれる品々が出揃っておりますので、皆さん是非お買い求めください。



特別賞・奨励賞受賞者の皆さんと
残間委員長、知事による記念撮影

■特別賞 受賞推奨品

ごんちゃん（日高川町生活研究グループ美山支部）

「ごんちゃん」は県内で初めてイタドリを商品化したもので、毎年売り切れるロングセラーの人気商品です。採れたてイタドリの柔らかな茎を秘伝の味で煮付けたシャキシャキとした食感と、一度食べると忘れられない懐かしい味わいが心に残る逸品です。イタドリを食べる食文化は全国的にも珍しく、美山地域では春の山菜として昔から親しまれています。

しかし、近年は鹿の食害等で山で採れる量が少なくなっているため、15年前からはイタドリ栽培にも取り組んでいます。



<審査委員評>

- ・「ごんちゃん」という名前に親しみやすさを感じる。和歌山らしさ・独自性も高く、飛躍する可能性がある。
- ・他社には真似のできない味で、ロングセラーも頷ける。ファンが増えるよう応援したい。

■奨励賞 受賞推奨品



【胡蝶蘭（フォアスSOSO）】
（有限会社ヒカル・オーキッド）



【南紀 熊野蜜】
（ベリー工房高田）



【マルケンみかんジュース賢宝】
（株式会社マルケンみかん）

●令和4年度和歌山県発明考案表彰式を開催しました

和歌山県では発明考案思想の高揚を図り、県産業の発展に寄与することを目的として、優れた発明、考案等によって科学技術の改善向上に貢献した方を表彰しています。

3月13日に正庁において表彰式を開催し、優秀な発明等により科学技術向上に寄与した発明賞として7名(6件)の方を、優れた創意工夫によって生産技術向上等に貢献した創意工夫功労賞として5名(3件)の方を表彰しました。



受賞者の皆さんと知事



謝辞を述べる雑賀代表取締役

式典では、受賞者を代表して東洋ライス株式会社の雑賀慶二代表取締役が、「この度の受賞は、我々の向上心を強く刺激してくれるものであり、受賞者だけでなく、県内の他の事業者にも波及し、県勢の浮上に寄与するものである。この栄誉を糧に、一層精進したい」と謝辞を述べられました。

豊富な御経験と卓越した御見識をお持ちの皆さんには、引き続き、新技術の創出や創意工夫に励まれることを期待いたしますとともに、県では皆さんの御協力のもと、県経済の活性化に向けて、失敗を恐れずに様々な施策を推進していきます。

■受賞者一覧

(敬称略)

賞	受賞者	所属企業	発明・業績名称
発 明 賞	久保 貴弘	(株)かつらぎ産業	乳酸菌及び発酵物の製造方法
	川本 淳生	川本化成(株)	繊維強化プラスチック用溶接棒、及び繊維強化プラスチック用溶接棒を使用する溶接方法
	和田 英之	(株)島精機製作所	目打ち装置
	吾妻 正章	(株)ジャバララボラトリー	抗アレルギー用組成物
	長田 優輔 谷本 晋基	デュプロ精工(株)	脱墨装置及び古紙再生処理装置
	雑賀 慶二	東洋ライス(株)	コメ及び飯
創 意 工 夫 功 労 賞	中河 拓也 土井 勇人	劑盛堂薬品(株)	錠剤製造工程における高速打錠化の実現
	村上 裕紀		新胃腸薬の製造方法検討における効率化
	奥村 直美 笠松 沙希奈		軟膏剤チューブの改良

●国の登録有形文化財（建造物）に新たに3か所（9件）を登録へ！

3月17日に国の文化審議会から、和歌山県内3か所（9件）の建造物を国登録有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申されました。

当該文化財が登録されれば、本県の国登録有形文化財（建造物）は121か所327件となります。



井上家住宅（旧岩田家住宅）主屋、土蔵、長屋門、土塀

所在地：紀の川市中三谷字西馬場脇195他

紀の川中流域の田園地帯に所在する農家住宅で、現在は参禅道場としても使用されており、敷地中央に主屋、北西隅に土蔵、南正面に長屋門が建ち、屋敷外周に土塀を巡らせています。

主屋は二階建、入母屋造、瓦葺で、大正5(1916)年頃に建設された近代和風建築です。内部は土間の西側に四室を田の字に並べ、更にその西側に座敷を接続させています。座敷は庭への眺望を確保するため、床の間を西面に、違い棚を北面に分けて配置した特徴的かつ上質な造りです。大正前期建設の土塀は、外面に青石の小石を隙間なく貼り付けた独特の仕上げであり、江戸末期建設の土蔵や昭和45(1970)年建設の長屋門とともに屋敷構えを整えています。

(写真上：主屋、写真下：土塀)



旧制粉河高等女学校同窓会館（粉河高等学校同窓会館）洋館、和館

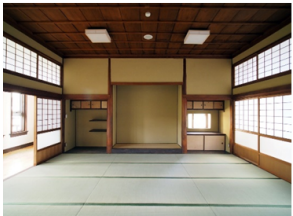
所在地：紀の川市粉河字植田4600

旧制粉河高等女学校は大正2(1913)年創立の県立女学校で、同窓会館は開校20周年を記念して建設されました。同窓会館は学校行事や同窓会の集いの場のほか、かつては生徒が一週間程泊まり込み、炊事や掃除等の実習を行う家庭実習寮としても使用されました。

洋館は木造二階建てで、切妻造、赤い洋瓦葺の大屋根を持ち、和館は平屋建て、宝形造、スレート葺で、洋館の東に接続しています。いずれも昭和9(1934)年に建設され、縦長の上げ下げ窓が連続して並ぶ洋館と、和館が取り合う外観が特徴的です。洋館一階には応接間や食堂等があり、二階には三方に広縁が設けられた二間続きの和風の大広間があります。同窓会館は、令和4(2022)年に耐震補強や屋根葺替、活用に向けた設備改修がなされ、また内装の一部が復元されました。

紀の川を見下ろす高台に建つ赤い三角屋根の同窓会館は、現在に至るまで使用され続け、歴史ある伝統校の象徴の一つとして親しまれています。

全景



洋館二階 大広間



阿瀬家住宅 主屋、道具蔵、米蔵

所在地：有田郡湯浅町大字湯浅字中町535-1他

湯浅町湯浅は醤油醸造を始めとした商工業の町として知られていますが、漁網も特産品の一つでした。阿瀬家もかつて漁網製造業を営んだ家で、湯浅の市街地の中心部に位置しています。

主屋は二階建て、切妻造、瓦葺で、江戸末期に建設されました。中町通りに西面して建ち、現在の表構えは明治後期に続き間座敷が増築された際に整えられました。続き間座敷は透かし彫りの欄間や面皮柱の床柱を用いた上品な造りです。道具蔵と米蔵は、主屋の東側に並び建つ二棟の土蔵で、一連の屋根を架けています。いずれも二階建て、切妻造、瓦葺で、江戸末期に建設されました。一階は縦板張り、二階は漆喰塗で、装飾の少ない実用的な外観です。

これらの建造物は漁網製造業が醤油醸造に並ぶ湯浅の一大産業であった当時の様子を今に伝え、湯浅の市街地の歴史的景観の形成に大きく寄与しています。

(写真上：主屋、写真下：道具蔵)



●令和4年度「企業の森」の実績を御紹介します

近年、地球環境や社会・経済の持続性に対する関心が高まっており、持続可能な開発目標（SDGs）への注目が増えています。中でも、森林とSDGsの関係は密接で、SDGsのうち数多くの目標が森林と深く関わっています。

森林は多面的な機能を持ち、適切に管理されることで生活の安定や経済の発展に重要な役割を果たします。また、森林は二酸化炭素の吸収源として大きな役割を果たし、「2050年カーボンニュートラル」の実現にも貢献しています。

和歌山県では、企業・団体の皆さんにCSRや社会・環境貢献活動などの一環として、手入れの行き届かない森林の整備を進めていただく「企業の森」事業を展開しています。この事業に参加することで、企業・団体の皆さんは災害の防止や二酸化炭素の吸収源対策に貢献すると同時に、福利厚生、環境教育、自然体験、農山村との交流、世界遺産観光などの様々な活動と組み合わせて楽しむことができます。

令和4年度には、5企業・団体と新規活動地での協定を締結し、2団体には活動期間を更新していただきました。これにより、令和5年3月末の参画団体数は91企業・団体、活動箇所は105箇所となりました。

また、23企業・団体から約750人が参加し、森林保全活動に取り組んでくださいました。

今後も、多くの企業・団体の皆さんに御協力いただき、和歌山県の歴史的・文化的に貴重で豊かな森林を守っていきたく考えています。詳細については県のホームページをご覧ください。

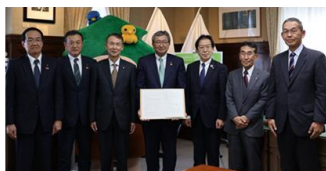


植樹活動の様子



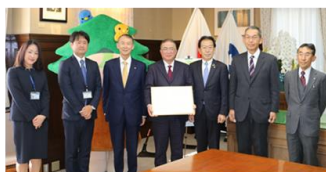
県ホームページ
QRコード

■令和4年度新規協定締結企業・団体一覧



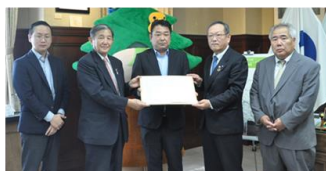
三機工業株式会社（所在：東京都中央区）

調印日：令和5年3月14日
活動箇所：白浜町安居 活動面積：1.59ha 活動内容：植樹
協定期間：令和5年3月14日から令和15年3月13日（10年間）



和歌山県民共済生活協同組合（所在：和歌山市）

調印日：令和5年1月30日
活動箇所：白浜町安居 活動面積：1.00ha 活動内容：植樹
協定期間：令和5年1月30日から令和15年1月29日（10年間）



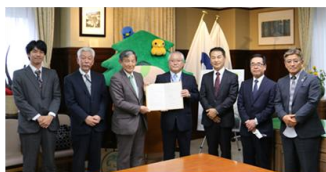
ユニチカ労働組合（所在：大阪府大阪市）

調印日：令和4年11月13日
活動箇所：日高川町高津尾 活動面積：1.17ha 活動内容：植樹
日高川町高津尾川 活動面積：1.35ha 活動内容：植樹
協定期間：令和4年10月13日から令和14年10月12日（10年間）



ワコン株式会社（所在：紀の川市）

調印日：令和4年8月23日
活動箇所：田辺市龍神村殿原 活動面積：1.10ha 活動内容：植樹
協定期間：令和4年8月23日から令和14年8月22日（10年間）



キクロン株式会社（所在：和歌山市）

調印日：令和4年5月9日
活動箇所：かつらぎ町上天野 活動面積：3.11ha 活動内容：間伐
協定期間：令和4年5月9日から令和14年5月8日（10年間）

●世界にはばたけ！ ～第14期ゴールデンキッズ修了式～

この度、将来トップアスリートとしての活躍が期待される「ゴールデンキッズ」第14期生39名が3年間の育成プログラムを修了しました。



修了証を手にする第14期生の皆さん

県では、平成18(2006)年度から県内の優れた素質を有

する子供たちを早期に見出し、発達段階に応じた「育成プログラム」を展開することで、将来オリンピックをはじめとする国際舞台で活躍する競技者を育成する「ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」を展開しています。

令和4年度で17回目を迎えたこのプロジェクトでは、今回の修了生を含め525名が修了し、国際大会や全国大会で活躍しています。

修了式では、知事から修了証の授与や記念品の贈呈を行い、佐々木希乃さんささきののと森田菜々さんもりた ななが「ゴールデンキッズで経験したことを活かし、高い目標を持ち、これからも競技に取り組みたい」と力強い「代表のことば」を述べました。

子供たちは明るい未来に向かって成長していく私たちの希望です。これからも世界のトップアスリートを目指す子供たちを支援するとともに、世界で活躍する修了生の皆さんを様々な方法により支えていきます。

■ゴールデンキッズ修了生の令和4年度の主な活躍

(敬称略)

期	競技名	氏名	大会名/成績
1	レスリング	吉田 隆起	2022年全日本社会人選手権 男子フリースタイル86kg級/1位
3	陸上競技	長 麻尋	第71回全日本実業団対抗選手権 女子やり投げ/1位
5	空手道	武田 風人	2022 KARATE 1シリーズA カイロ/5位 2022 全日本強化選手(シニア)【男子組手84kg級】
5	カヌー	小林 実央	2022 U23世界選手権代表 令和4年度日本カヌースプリント選手権大会 成年女子 WC-1 200m/1位 WC-2 500m/4位
7	空手道	武田 桜花	第50回全日本空手道選手権大会 内閣総理大臣杯 女子組手団体戦/優勝
8	サッカー	北野 颯汰	2022 U-19日本代表
8	アーチェリー	矢渡 茜	2022 U-20ナショナルチームメンバー 全国高等学校総合体育大会 女子個人/2位 女子団体/出場
11	陸上競技	渡辺 敦紀	全国中学校体育大会 男子1500m/1位
11	ボート	巽 丹乃	第42回全日本中学選手権競漕大会 女子クォドルプル/2位
13	エアロビック	嶋田 有彩	JOCジュニアオリンピックカップエアロビック選手権大会2022 ユース1グループ/3位

●食ベチョコ×和歌山県特設サイトを開設しています！

県では、農水畜産物の販路拡大に向け、多様な流通ツールを活用した取組を推進しています。この度、株式会社ビビッドガーデンとの連携により、食ベチョコ HP 上に県内生産者の商品が閲覧可能な和歌山県の特設ページを開設していますので、是非ご覧いただき、御活用ください。



食ベチョコ×和歌山県特設サイト

＜内容＞

- ・代表的な県産特産品のピックアップ
- ・こだわり溢れる県内生産者の紹介
- ・農産物のカテゴリーや地域分け（紀北／紀中／紀南）による分かりやすい検索
- ・おいしく食べて和歌山モールへの誘導

☆「みかん」のまとめページ



☆こだわりの生産者一覧ページ



☆アクセスはこちらから

<https://www.tabechoku.com/ul/wakayama/#section2>



～「食ベチョコ」とは～

食ベチョコは、一次産業の生産者さんからこだわりの食材やお花を直接購入できる産直通販サイトです。日本国内の産直通販サイトの中で、認知度や利用率など9つのNo. 1を獲得しています。

ユーザー数は80万人、登録生産者数は8,100軒を突破し、5万点を超えるこだわりの逸品を出品いただいています。

●和歌山県観光総合アプリ「和み わかやま旅」が完成しました！

和歌山県の観光情報や便利機能を搭載したアプリ「和み わかやま旅」を、3月24日から配信中です。エリアやジャンル、写真等から観光施設を検索し、経路を調べることができる他、和歌山県の産品が抽選で当たる「謎解きラリー」もお楽しみいただけます。皆さん是非チェックしてみてください。

<搭載機能>

■スポットで探す！

- ・エリア、カテゴリー、キーワードで観光施設等を検索し、経路を調べることができます。

■写真で探す！

- ・写真から観光情報を検索し、施設等への経路を調べることができます。

■イベントを探す！

- ・カレンダーからイベント情報を検索し、会場等への経路を調べることができます。

■お知らせします！

- ・旬の観光情報をプッシュ通知でお知らせします。

■謎解きラリー！

- ・和歌山の様々な観光スポットを巡り、謎を解かれた方を対象に、抽選で和歌山の産品等をプレゼント。
- ・第一弾は、「わかぱんと巡る和歌山観光満喫コース」として、白良浜、橋杭岩、那智の滝などを謎解きスポットに設定しています。（実施期間は9月30日まで）



アプリのダウンロードは
こちらから

●「わかやま・まるごとスタンプラリー 第3弾」が好評実施中です！

和歌山県を訪れる皆さんに、県内をより一層有意義に観光していただくため、スマートフォン等のアプリを使って、県内各地の歴史や絶景、温泉、グルメなどのスポットを楽しみ・学びながら周遊することができる「わかやま・まるごとスタンプラリー」。

獲得したスタンプ数に応じて、県特産品が抽選で当たるほか、コース①～③では、全てのスタンプを獲得した方には「完全達成賞」として、特製マグカップなどの記念品をプレゼントします。アプリをダウンロードし、県内各地を巡る旅を是非お楽しみください。

【実施期間】令和5年3月24日～令和6年2月29日

【内 容】テーマ別にコースを設定

コース①：「わかやま歴史物語 テーマ編」

県内各地に残る歴史資産を「100の旅モデル」として紹介する「わかやま歴史物語」その中から「紀州徳川家」「食文化」「産業」等をテーマとした“21の旅モデル”を巡るコースと「高野山」や「熊野」を巡る“おすすめコース”

コース②：「アウトドアパーク、わかやま」

海・山・川など豊かな自然を活かしたアウトドアコンテンツを満喫できるコース

コース③：「南紀熊野ジオパーク」

ジオサイトを巡り、大地に育まれた熊野の自然と文化に出会うことができるコース

コース④：和みわかやまっぷ with スタンプラリー

グルメやお土産処など250店舗以上で使える“クーポン付き”スタンプラリー

コース⑤：期間限定特別キャンペーン 和み温泉スタンプラリー（令和5年8月31日まで）

多種多様な泉質の温泉をお得に巡ることができる“クーポン付き”スタンプラリー

アプリのダウンロードは
こちらから▶



● 県立博物館で特別展「きのくにの小浪華－湯浅ゆかりの文人の書画－」を開催します

江戸時代、湯浅は紀伊国内有数の商業都市として栄えました。19世紀になり、日本の各地で豪商や豪農らが文雅を嗜み、江戸、京、大坂の三都の文人たちとの行き来も盛んになると、紀伊国では湯浅がその中心の1つとなりました。

商都として繁栄し、裕福な商人らが文芸に親しみ、交流した江戸時代の湯浅は、浪華（大坂）を思わせるような地方都市であり、「きのくにこなにわの小浪華」と呼ぶのにふさわしい展開をみせます。

本展覧会では、近年、湯浅町教育委員会に寄贈された菊池家資料をはじめ、古碧吟社に参加した人々や、湯浅ゆかりの画家がのこした書画を中心に展示し、湯浅での文芸活動の足跡をたどります。



きくちかいそうぞう くききよはくさく

菊池海荘像 九鬼虚白作 湯浅町教育委員会蔵

幕末維新期の日本を代表する漢詩人の一人、菊池海荘（1799～1881）は栖原村の名族・垣内氏（後に菊池氏に改姓）の生まれ。江戸で砂糖問屋を営む傍ら、様々な文人と交遊しました。栖原の屋敷に各地の文人を招いたり、漢詩サークルの古碧吟社を率いるなど、湯浅における文芸活動の中心的人物でした。

この作品は、明治8（1875）年、海荘が78歳のときに、伊都郡隅田村（現在の橋本市隅田町）出身の彫刻家・九鬼虚白（1826～1890）によりつくられたものです。附属する箱に記された、海荘自筆の文章によると、普段の自身の姿そのままだと、絶賛しています。

特別展では、海荘と交流があった人々の作品を多数展示します。

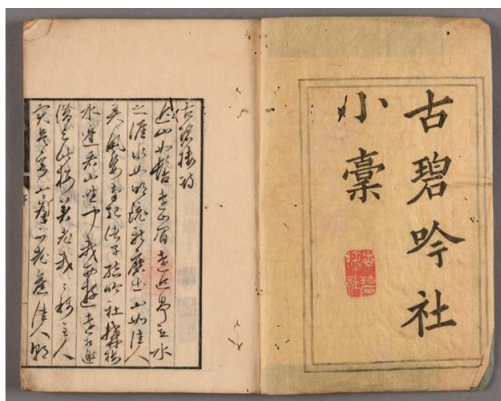
こへきぎんしゃしょうこう

古碧吟社小稿 松原永年編 湯浅町教育委員会蔵

古碧吟社は、菊池海荘が事実上のリーダーとなり、湯浅で活動した漢詩サークルです。

湯浅のまちの南側の入り江にあった、美しい松並木と海辺の景色を誇る酒樓を古碧楼と呼び、そこを拠点としていました。この資料は、古碧吟社の活動時に、唯一出版された詩集です。同人16人の漢詩が収録されています。その詩の内容から、優雅な集いの様子がうかがえます。

他にも、古碧吟社に関する資料をご紹介します。



<開催概要>

- 会 期 令和5年4月29日（土）～ 令和5年6月18日（日）
 開館時間 9時30分～17時（*入館は16時30分まで） / 休館日 毎週月曜日
 入 館 料 一般520円(420円)・大学生310円(250円) *（ ）内は20名以上の団体料金
 *高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料
 イベント ①担当学芸員による博物館講座「漢詩人・菊池海荘をめぐる文雅の“ワ”」
 日時：5月21日（日）13時30分～15時 定員：先着100名
 ②現地見学会「湯浅のまちを歩く」
 日時：6月4日（日）13時30分～15時 定員：先着 30名
 *①・②いずれも参加費無料。事前申込制。
 （5月2日（火）9時30分より電話（073-436-8670）にて申込みを受け付けます。）

● 県立近代美術館で「石ノウエニ描クー石版画と作り手たちの物語」を開催中です

版画は凸版、凹版、孔版、平版に大きく分けられ、リトグラフは平版の一種です。リトグラフは版面が平らなままで水と油がはじきあう性質を利用して版を作るもので、一般的な印刷に使われているオフセットもリトグラフから発展した技法です。

リトグラフは、18世紀終わりにミュンヘンでアロイス・ゼネフェルダーが発明し、1798年頃に「化学的印刷術」として完成されてヨーロッパに普及しました。はじめは楽譜や地図の実用的な印刷に使われましたが、19世紀には画家たちがこの技術によって版画作品を制作するようになりました。版画の技法の中でもリトグラフの画期的なところは、版に描かれた痕跡を、彫師の手を経ないで残らず製版し、印刷できることでした。

彼らは製版に使うリトクレヨンや、ペンや筆につけた解き墨を使い、手描きの繊細で自由なタッチや、水彩画のようにやわらかなにじみなどによる豊かな表現を追求しており、優れた製版、印刷の技術を持つ版画工房との共同作業も豊かな実りをもたらしました。

日本にリトグラフ印刷機がもたらされたのは、1860年のことでした。プロイセンの使節が印刷機一式を幕府に贈ったのです。そして、明治時代には欧米から指導者が迎えられてリトグラフによる様々な実用印刷物が制作されて普及し、その中から版画も生まれました。

本展では、ムンクやルドンの名品や、^{おだかずま}織田一磨の『東京風景』『大阪風景』から現代の作品まで、当館の東西の版画コレクションを中心に、石版画の歴史とともにその魅力をお伝えします。



織田一磨
〈『東京風景』上野廣小路〉1916年



井田照一
〈Stone, Paper and Stone〉1976年

＜開催概要＞

- 会 期 令和5年4月22日(土)～令和5年7月2日(日)
 開館時間 9時30分～17時(*入場は16時30分まで)
 休館日 毎週月曜日
 入館料 一般520円(410円)・大学生300円(260円) * ()内は20名以上の団体料金
 * 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料
 * 第1日曜日(5月7日、6月4日、7月2日)は無料
 * 第4土曜日(5月27日、6月24日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

● 県立紀伊風土記の丘で令和4年度春期企画展「岩橋千塚古墳群のはじまりー花山地区の古墳ー」を開催中です

県立紀伊風土記の丘では、春期企画展「岩橋千塚古墳群のはじまりー花山地区の古墳ー」を開催中です。

岩橋千塚古墳群は、総数900基にも及ぶ国内最大規模の群集墳です。古墳群は10地区に区分されており、このうち花山地区は、岩橋千塚古墳群の造

営開始時期にあたる4世紀末から5世紀初頭に古墳が造られ始める、いわば「岩橋千塚古墳群のはじまり」を象徴する地区と言えます。一方で、岩橋千塚古墳群が継続する期間も連綿と古墳が造り続けられ、7世紀まで古墳が築造されていたことも明らかとなっています。



花山6号墳 玉類（和歌山市蔵）



花山8号墳 鉄剣（和歌山市蔵）

しかし、花山地区の古墳は早くから開墾や開発による消滅の危機、盗掘に晒されたため、事前に調査が行われないうまま消滅してしまった古墳が多数存在し、この地区の古墳の実態は不明瞭な部分も多くありました。

近年、地域の研究者による踏査記録の公開やこれまでに出土した埴輪・副葬品の研究の進展により、花山地区の古墳の実態や時期的な位置付けが、徐々に明らかになり始めています。

本展では、記録類やこれまでの出土資料の展示を通じて、古墳群造営の端緒となった花山地区の古墳に焦点を当て、その特徴や時期的な変遷に迫ります。

<開催概要>

- 会 期 令和5年3月18日（土）～ 令和5年6月18日（日）
 開館時間 9時～16時30分（*資料館入館は16時まで／移築民家は16時15分まで）
 休 館 日 毎週月曜日（*月曜日が祝休日の場合は次の平日）
 年末年始（12/29～1/3）、展示替期間
 入 館 料 一般190円（150円）・大学生90円（70円） *（ ）内は20名以上の団体料金
 *高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料
 *毎月1日は入館料無料（1日が休館日の場合は次の開館日）

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトを御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 大亦、池田、高松、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 西中

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①生涯スポーツ・文化の振興
- ②子供たちの教育環境の充実
- ③がん対策の充実
- ④犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑤世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑥南紀熊野ジオパークの推進
- ⑦地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑧学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑨わかやまの美しい海づくり
- ⑩わかやまの文化財の保護
- ⑪大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑫わかやまのナショナル・トラスト
- ⑬わかやまの農林水産業の振興
- ⑭子育て支援の充実



皆さまからいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

■寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請のご案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

*ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

和歌山県では、ワンストップ特例申請の手続きを、より簡単・便利に行えるよう完全オンラインでのサービスを提供しています！

マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から即座に申請を完結させることが可能です。

- *申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
- *自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。
（自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。）



寄附金控除の手続きやオンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページをご確認ください。



イベント情報（5月上旬～5月下旬）

*** 最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
5月3日	イノブータン王国建国祭	すさみ海水浴場 (すさみ町)	イノブタダービー実行 委員会 0739-55-2293
5月4日 5月5日	紀州九度山 真田まつり	入郷 (九度山町)	真田祭実行委員会 0736-54-2019
5月14日	和歌祭	紀州東照宮 (和歌山市)	和歌祭保存会 073-444-0808
5月14日	みやこ姫よさこい祭り	御坊総合運動 公園 (御坊市)	みやこ姫よさこい祭り 実行委員会 0738-32-0088
5月28日	黒江めった祭り	黒江公民館周辺 (海南市)	黒江めった祭り実行委 員会 073-495-2573

自然・風物情報（5月上旬～5月下旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
5月上旬	ぶどう山椒出荷最盛期	有田川町 紀美野町	海草振興局農業水産 振興課 073-441-3378
5月中旬	棚田「あらぎ島」 田植え始まる	棚田 (有田川町)	有田川町ふるさと開 発公社 0737-25-0211
5月下旬	新しょうが出荷最盛期	和歌山市河西、 布引、小豆島	海草振興局農業水産 振興課 073-441-3378
5月下旬	ホタル鑑賞	田辺市鮎川 (小川地区)	大塔行政局産業建設課 0739-48-0301

～編集後記～

4月1日付の人事異動により秘書課長となりました津井田一陽と申します。「和歌山だより」の編集長として、ふるさと和歌山の情報をみなさまにお届けしてまいりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

今年度の初号となる第178号の「和歌山だより」、いかがでしたでしょうか。みなさまには、コロナ禍も一段落し、新緑の季節を楽しまれていることと思いますが、和歌山でも観光客が本格的に回復し、県内各地で賑わいを取り戻しています。北山村では、5月3日に「観光筏下り」の開航式が3年ぶりに行われるそうです。

さて、私の出身地である日高郡印南町は、えんどうや小玉スイカ、ミニトマトやスターチスなどの産地として有名です。高速道路4車線化のおかげで、和歌山市から印南町までは、車で50分程度の距離となりました。

私事で恐縮ですが、実家では今年81歳になる母が南高梅とコメを作っています。一人で全ての作業を行うのは当然無理なので、週末には私も手伝うのですが、それだけで農業を続けていくのには、実際厳しいものがあります。

それでも、80歳を越えて何とか続けていられるのは、近所の方々の色々な手助けがあるからです。軽トラへの積み込みや農機具の修理など、何か困ったことがあれば、すぐに誰かが助けてくれる。そんなコミュニティが存在していることを本当にありがたいと思います。

そして、母自身の頑張り。朝早くから一人黙々と農作業に勤しみ、誰に言われるともなく、代々続く畑と田んぼを守っている。まさに、母は強し。いくつになっても、母には頭があがりません。

今回も最後まで御覧いただき、ありがとうございました。

知事室 秘書課長 津井田 一陽



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ
QRコード



ふるさと和歌山
応援サイト QRコード

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2023年（令和5年） NO.178

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026